

公立大学法人山口県立大学 専任教員募集要項

公立大学法人山口県立大学では、①責任感・使命感が強く、熱意を持って教育を推進することができる人材、②「県民のために」、「地域のために」という姿勢や熱意を有し、地域社会に対し積極的に関わり、貢献することができる人材、③国際化に対応した教育研究活動を推進し、グローバル社会に対応できる学生の育成及び地域の国際化に貢献できる人材、④自らの役割を常に自覚しながら、責任と誇りを持って大学運営に参画できる人材を求めています。

1. 専門分野	日本史
2. 主要担当科目	<p>【学 部】</p> <p>日本史学概論、日本アジア交流史、歴史史料論、日本文化実習、地域文化実習、基礎演習、専門演習、卒業演習</p> <p>【共通教育】</p> <p>歴史学</p> <p>【大 学 院】</p> <p>日本文化特講</p>
3. 職名及び人員	准教授または講師 1名
4. 採用時所属	<p>国際文化学部 文化創造学科</p> <p>* 採用後において、専門分野に関連する所属に異動となる場合があります。</p>
5. 応募資格等	<p>次の①～④をすべて満たす者</p> <p>① 大学院博士後期課程の単位を修得した者またはこれと同等以上の教育研究上の業績を有する者</p> <p>② 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有することが望ましい（必須ではない）</p> <p>③ 学校教育法第9条に規定する欠格条項（準禁治産者を含む。）に該当しない者</p> <p>④ 採用後は、本学への通勤が容易な山口市若しくはその近郊に居住することが望ましい（必須ではない）</p>
6. 採用予定日	平成27年4月1日
7. 提出書類	<p>① 履歴書（様式第1号）</p> <p>② 教育研究業績書（様式第2号）</p> <p>③ 公刊した著書、公表済みの論文又は専門領域に関わる顕著な研究業績（著書及び論文に係るものを除く。）のうち代表的業績 (3編(件))</p> <p>④ 採用後の教育、研究、地域貢献、大学運営に対する抱負を記載した書類（2,000字程度）</p> <p>⑤ 推薦書</p> <p>* 原則として、提出書類は返却しません。</p>

8. 提出期限	平成26年8月1日 消印（受付印）有効
9. 選考方法	<p>① 1次選考：書類審査 選考結果については、応募者全員に9月下旬までに文書で通知し、合格者のみ10月下旬までに2次選考を実施します。</p> <p>② 2次選考：面接（個別面接ほか実施予定）</p> <p>③ 選考結果：11月下旬までに2次選考を受けた者全員に文書で通知します。</p>
10. 給与・勤務条件等	<p>① 公立大学法人山口県立大学の定める規程による</p> <p>② 任期の定めなし（定年年齢65歳）</p> <p>③ 国立大学法人や公立大学等から引き続いて当法人の教員に採用された場合、その在職期間は、当法人の退職手当の対象となる在職期間に通算しない</p>
11. 書類提出先	<p>〒753-8502 山口県山口市桜島3丁目2番1号 山口県立大学 総務管理部人事グループ</p>
12. 問い合わせ先	<p>① 公募全般に関すること 山口県立大学 総務管理部人事グループ 木下 拓之 T E L 083-928-5467（直通） E-mail kinoshita@office.yamaguchi-pu.ac.jp</p> <p>② 専門分野に関すること 山口県立大学 国際文化学部 教授 水谷 由美子 T E L 083-928-3423（学部事務室） E-mail myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp</p>
13. 備 考	<p>① 1次選考合格者に、2次選考の日程及び実施方法を連絡します。</p> <p>② 2次選考の実施に当たって必要な旅費・滞在費等は応募者負担とします。</p> <p>③ 提出書類には、封筒の上に、「教員応募書類（日本史）」と朱書きし、特定記録郵便等の確実な方法により送付してください。</p> <p>④ 応募書類の様式については、本大学のホームページ (http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/annai/houjin/senninyoukou.html) からダウンロードできます。</p>

中国語専任教員公募要領

1. 任用職名：助教、または准教授
2. 担当科目：主としてグローバル・コミュニケーション学部専門科目（中国語科目、講義科目、演習）。および、全学共通教養教育科目（中国語）。
3. 採用人員：1名
4. 採用予定日：2015年4月1日
5. 応募資格：
 - (1) 現代中国語圏の社会・文化に関連する学問分野で、博士号を取得している者、またはそれに準じる教育上・研究上の業績を有する者。
 - (2) 大学における1年以上の中国語入門レベルの教育経験を有する者。
 - (3) 国籍は問わないが、授業・校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。中国語を母語としない者は、中国語圏の大学での1年以上の留学経験を有する者。
 - (4) Study Abroad（中国語圏）関係業務を積極的に行うことのできる者。
 - (5) 近畿圏に居住できる者。
6. 提出書類：
 - (1) 履歴書および業績書各1通。書式は同志社大学のホームページを参照のこと。
(ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
 - (2) 主たる研究業績3点（抜き刷り、コピー可。各々日本語で1,200字程度の要旨を付すこと）。
 - (3) 応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育・研究計画について日本語2,500字程度にまとめたもの）。
 - (4) 最終学位証明書のコピー。
7. 応募締切日：2014年9月12日（金）17時必着
8. 提出先および問い合わせ先：〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 中村 久男
注) なお、封筒の表に「中国語専任教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留郵便で送付すること（宅配便可）。
※本件に関する問い合わせは、e-mail(jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp)でお願いいたします。（電話での問い合わせはご遠慮ください。）
9. その他：
 - (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
 - (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求めることがある。
 - (3) 必要に応じて日本語と中国語による面接を行い、また模擬授業の実施を求めることがある。

- (4) 面接の際の交通費は、本学部の規定に基づいて支給する。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記6の提出書類は原則として返却しない。
- (7) 夏季休暇中に連絡先が変わる場合は、変更期間、変更先の住所、電話番号、電子メールアドレスを記載したものを必ず応募書類に同封すること。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

26TCE171号
平成26年7月16日

関係大学学部長・研究科長 殿
関係機関の長 殿
就職支援ご担当者 殿

独立行政法人国際交流基金
日本語試験センター
事務局長 高鳥 まな (公印省略)

独立行政法人国際交流基金 日本語試験センター
日本語能力試験特任研究員募集のご案内

【募集の目的】

独立行政法人国際交流基金は、文化芸術交流、海外での日本語教育支援、日本研究・知的交流等の分野でさまざまな活動を行っていますが、日本語事業の一環として1984年以来、公益財団法人日本国際教育支援協会と共催し、日本語を母語としない人を対象とした日本語能力試験 (<http://www.jlpt.jp/>) を実施しています。

このたび、当基金日本語試験センターでは、日本語能力試験の作成・分析等を行う特任研究員を以下のとおり募集します。

【募集内容】

1. 募集人数

若干名 (文法1~2名および読解1名)

2. 身分

国際交流基金と契約を結び、日本語能力試験特任研究員として業務に従事します。

3. 業務内容

下記の業務を主に行います。

- (1) 日本語能力試験の作題に関する業務
- (2) その他、日本語能力試験に関する業務一般

4. 主たる勤務地

国際交流基金日本語試験センター

住所：東京都新宿区四谷4丁目3番 (東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅 徒歩5分)

5. 待遇

(1) 手当

国際交流基金の規程に基づき、各人の学歴、経験等に従い基本手当等を毎月支給するほか、通勤手当、時間外手当、特別手当を支給します。

(2) 社会保険

健康保険、厚生年金保険、労災保険及び雇用保険に加入。

6. 勤務条件

(1) 勤務日

原則として、月曜から金曜までの週5日勤務。土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を休日とします。ただし、会議等で土曜、日曜日または祝日に出勤することがあります。

(2) 勤務時間

9時30分から18時まで（休憩時間60分）

(3) 休暇

有給休暇制度有り。（ただし、初年度は勤務開始月によって調整有り。）

(4) その他の勤務条件：国際交流基金の定めるところによる。

7. 委嘱予定期間：

2015年4月1日～2016年3月31日

※契約は年度毎で、採用した日から通算3年までの更新の可能性があります。

※委嘱開始時期については相談により早期着任をお願いする場合があります。

【応募資格】

次の1～3の各項目を満たす者とします。

1. 日本語教育もしくは日本語学に関する分野の大学院修士課程を修了した者、またはこれと同等以上の能力を有する者
2. 国内外の中等・高等教育機関、日本語学校等の日本語講師（非常勤を含む）として、3年以上勤務した経験を有する者、または、大規模試験の開発・調査等業務に3年以上従事した経歴を有する者
3. 日本国籍を有しない場合は、日本国内で合法的に就労できる者

【応募方法】

1. 応募書類

(1) 履歴書（写真貼付）・業績一覧 日本語試験センター指定用紙（A4版5ページ）

※記入内容が多い等の理由で書式がずれたり枚数が増えるのは差し支えありませんが、記入項目についてはすべて記載してください。

※今回の募集は文法と読解です。希望する職種をチェックしてください。

(2) 志望理由書

2,000字以内（A4版用紙2枚以内、ワープロ打ち）で、次のような点に触れつつ志望理由を記すこと。

※志望理由書に氏名を記してください。

- ・これまでの仕事の内容、専門、特に関心を持ってきたこと。
- ・日本語試験センターに採用された場合、日本語能力試験に関しどのような仕事をしたいと考えるか、どのようなことに特に関心があるか。

(3) 推薦状 1通

推薦者と本人との関係を明記し、推薦状は推薦者自らが厳封したものをご提出ください。

※提出書類は返却いたしません。

※第二次選考通過者には、修了(卒業)証明書、健康診断書等の提出をお願いいたします。

2. 提出期限

2014年9月24日(水曜日)17時必着

3. 提出方法及び提出先

封筒に「特任研究員応募書類在中」と朱書し、下記宛に郵送してください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目3番
国際交流基金 日本語試験センター
特任研究員採用担当係

【選考方法】

1. 第一次選考

書類選考を行います。応募書類の内容についてお尋ねすることがありますので、応募用紙には連絡が取れる電話番号と電子メールアドレスを明記してください。

結果は2014年10月中旬までに通知いたします。

2. 第二次選考

第一次選考通過者に対して次の日程で実技試験、口頭試問、面接等を実施いたします。

・読解：2014年10月17日(金)

・文法：2014年10月22日(水)

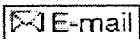
※文法では事前課題を提出していただく予定です。

【結果通知】

第二次選考の結果は選考終了後、一週間を目処に通知いたします。

【問い合わせ先】

国際交流基金 日本語試験センター 特任研究員採用担当

Tel : 03-5367-1021 / Fax : 03-5367-1025 /  E-mail js_saiyo@jpf.go.jp

以上

(次の中から希望する分野を1つ選択して下さい。文法、読解)

履 歴 書

年 月 日現在

No. _____

写 真	(ローマ字) 氏 名					男 ・ 女		
	生年月日	年	月	日	(歳)			
	現住所	(〒)						
<ul style="list-style-type: none"> ・過去3ヶ月以内撮影 ・裏面に氏名記入 ・白黒カラー問わず ・パスポートサイズ程度 	(TEL)	日本国籍 以外の場 合は国籍						
	(携帯)							
(E-mail)								
免 許 ・ 資 格	名 称	取得年月	外 国 語 能 力	外国語名	左の能力			
		年 月			聞	話	読	書
		年 月		英 語				
		年 月		語				
		年 月		語				
		年 月		語				
		年 月		評価は次の基準により記入のこと。				
		年 月		A: 「十分できる」				
	年 月	B: 「かなりできる」						
	年 月	C: 「少しできる」						
	年 月	D: 「ほとんどできない」						
所 属 機 関 職名・連絡先								
	(TEL)							
所 属 学 会								
専 門 分 野								

学 歴 (高等 学校 卒業 以降 より 記入)	在学期間	入学等区分 (入学・卒業・ 修了・退学等)	学校名 (学部・学科・研究科・専攻等)
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		

修士号	取得年月 年 月	授与大学	学位論文 題目
博士号	取得年月 年 月	授与大学	学位論文 題目

※修士号、博士号を取得済みもしくは予定の場合は必ず記入してください。

日 本 語 教 育 以 外 の 職 歴 (大 学 卒 業 時 か ら 始 め る)	期 間	勤務先名 (所属・職名) 職務内容	勤務様態/ 勤務時間数
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		常勤・非常勤 (週 時間)
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		常勤・非常勤 (週 時間)
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		常勤・非常勤 (週 時間)
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		常勤・非常勤 (週 時間)
	年 月 日 年 月 日 (年 ヶ月)		常勤・非常勤 (週 時間)

各関係機関長 殿

国立大学法人福岡教育大学長
寺尾 慎一 (公印省略)

教員採用の公募について (依頼)

このことについて、下記のとおり公募いたしますので、貴機関の関係者に周知方よろしくお願いいたします。

記

1. 職 名 講師

2. 応募資格 次のいずれの条件にも該当する者 (国籍は問わない。)
- (1) 美術史・美術理論を主たる研究領域とし、この領域において研究業績を有する者
 - (2) 学芸員資格を有し、美術館等で学芸員としての勤務経験を有する者
 - (3) 大学院修士課程を修了した者またはこれに準ずる者
 - (4) 「日本美術史」、「西洋美術史」、「美術理論」等 (下記3 (4) 参照) の講義・演習を担当できる者
 - (5) 大学院修士課程の授業を担当できる者

※美術史・美術理論に関する研究指導の経験を有することが望ましい。
採用後は、福岡県またはその近県に居住することが望ましい。

3. 所属講座及び採用人員等

- (1) 所属講座：美術教育講座
- (2) 採用人数：1名
- (3) 専攻分野：美術史または美術理論
- (4) 担当予定科目：学部「日本美術史」、「西洋美術史」、「美術理論」、「美術入門」等
大学院「美学特講」、「美術館特論」、「日本・東洋美術史」または「西洋美術史特講」
上記に加えて、学芸員教育における「博物館実習」を担当していただきます。

4. 応募書類 (選考終了時に返却いたします。)

- (1) 「個人調書」、「研究業績・教育業績書」、「学界及び社会における活動等」、「学内運営活動実績書」、「抱負書」(いずれも本学所定の様式による。)
- (2) 著書、論文、学会発表等の全ての研究業績の現物、別刷またはそのコピー
- (3) 最終学歴証明書
- (4) 電話番号 (携帯電話が望ましい) 及びメールアドレスの連絡先 (任意様式)

※本学所定の個人調書、研究業績・教育業績書、学界及び社会における活動等、学内運営活動実績書、抱負書は、次の方法で入手することができます。

- ・返信用封筒(宛先を明記した角形2号封筒に140円分の切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「美術教育講座教員公募書類請求」と朱書きして、「8 (1) 問い合わせ先」まで郵便により請求
- ・本学ホームページ (<http://www.fukuoka-edu.ac.jp/view.rbz?cd=308>) からダウンロード

5. 締 切 日 平成26年9月30日 (火) (必着)

6. 採用年月日 平成27年4月1日

7. 応募書類送付先 〒811-4192 国立大学法人福岡教育大学長 宛

※封筒の表に「美術教育講座教員公募」と朱書きし、郵送の場合は書留にて送付してください。

8. 問い合わせ先

- (1) 事務手続き等の問い合わせ及び公募書類請求先
国立大学法人福岡教育大学人事企画課
〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1
電話 0940-35-1545
- (2) 担当科目等の具体的内容の問い合わせ先
美術教育講座主任 千本木直行 E-mail: sembongi@fukuoka-edu.ac.jp

9. その他

- (1) 必要に応じて面接を行うことがあります。その際の交通費等は自己負担となります。
- (2) 給与及びその他雇用条件等は本学規程によります。
- (3) 定年年齢は満63歳です。(ただし、満65歳までは再雇用制度の適用が可能です。)
- (4) 退職手当：国、特定独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り、従来どおり通算されます。

関係各位

公立大学法人京都市立芸術大学
美術学部長 藤原 隆男
美術研究科長 秋山 陽
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下、ますます御清栄のことと存じます。

このたび、本学部・研究科では、下記の要領において教員を公募いたしますので、関係各方面の方々へ御周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1 担当内容

- (1) 学部：『文学概論』、『比較文芸論』、『フランス語 (初級)』、『フランス語 (中・上級)』、『テーマ演習』
- (2) 大学院修士課程：『比較文芸論特講』
- (3) 大学院博士 (後期) 課程：論文指導

など

2 職名・人員

講師又は准教授 1名

3 応募条件

- (1) 広い視野のもとで文学およびフランス語の研究・教育に当たれる人で、文学の分野で優れた研究業績を有する人
- (2) 国籍は問わないが、日本語による教育が可能な人
- (3) 博士の学位あるいはそれと同等の研究業績をもつ人
- (4) 大学またはそれと同等水準の教育機関で、フランス語の教育経験を2年以上有する人
- (5) 主たる専攻分野における研究教育のみならず、国際交流および外国語教育の推進と運営、その他学内運営業務に積極的に当たれる人
- (6) 採用後、通勤可能な近畿地方に居住する人

4 提出書類等

- (1) 提出物一覧表
- (2) 履歴書 (JIS規格に準拠したもの。押印のうえ写真を貼付)
- (3) 最終学校の卒業又は修了証明書 (写しは不可)
- (4) 業績目録
- (5) 順位を付した主要著書、論文等の写し (5点以内)
- (6) 美術学部・美術研究科における文学・フランス語の教育についての抱負をまとめたもの (日本語、A4用紙1枚)

5 面接

書類選考のうえ、面接を実施することがあります。(面接の旅費等は自己負担となります。)

6 提出期限

平成26年9月26日 (金) 必着 (書留又は宅配便など、配達確認が可能な方法。持参は不可)

7 採用予定日

平成27年4月1日 (内定は、平成26年12月頃を予定しています。)

※内定時期によっては、採用時期が遅れる場合があります。

8 書類提出先

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 美術学部長宛 (表に「文学・フランス語教員応募」と朱書のこと。)

9 問合せ先

京都市立芸術大学事務局教務学生課 (美術教務担当) 電話075-334-2220

10 その他

- (1) 提出書類は採用事務にのみ使用し、その他に使用することはありません。
- (2) 提出書類は、選考終了後返却します。
- (3) 採否の結果については、文書で応募者に通知します。
- (4) 本学の情報は、ホームページ (<http://www.kcua.ac.jp/>) を御覧下さい。

平成26年7月16日

各関係大学長
各関係大学学部長
各関係機関の長 様

京都市立芸術大学
音楽学部長 大嶋 義実
(公印省略)

教員公募について (依頼)

このたび本学では、下記要領により非常勤講師を公募いたします。つきましては、関係各位、機関に御周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 担当内容 マリンバ演奏実技
(学部・修士課程。年間30時間から60時間程度。学生数により変動します。)
2. 職名・人員 非常勤講師 1名 (契約期間 1年)
* 本学との合意があれば2回、計3年間まで延長する場合があります。
3. 専門分野 マリンバ演奏の分野で活躍し、優れた業績を有し、幅広い視野に立って教育指導のできる方
4. 提出書類等
 - (1) 提出物一覧表
 - (2) 履歴書 (書式は自由。署名押印のうえ、写真を貼付。E-mail アドレス等確実に連絡がとれる方法を明記してください。)
 - (3) 業績書 (演奏業績、教育業績を分けて記入してください。)
 - (4) 応募者本人の演奏録音 (曲数は2曲以上の任意、合計時間は80分以内。マリンバのためのオリジナル作品及び J. S. Bach の作品をそれぞれ1曲以上必ず収録し、Windows-Media Player で再生可能な形式でオーディオ CD 又はデータ用 CD-R1 枚にまとめてください。また、ディスクレーベル面に氏名を必ず書いてください。)
 - (5) 演奏録音資料・曲目データ等一覧表
 - (6) レポートリー一覧表
 - (7) 書類選考後のオーディションでの演奏予定曲目一覧表
 - (8) その他任意の資料 (例：マリンバ演奏教育についての提言。プログラム、チラシ、賞状の写し等)
* 提出された資料は一切返却いたしません。
* 全ての資料に必ず氏名を記入してください。

5. 審査・面接 書類選考のうえ、オーディション・面接を実施する場合があります（日程は書類選考後相談のうえ決定。旅費、伴奏者の費用等は応募者負担）。マリンバのためのオリジナル作品と J. S. Bach の作品をそれぞれ1曲以上含む60分から70分程度のリサイタルプログラムを御用意ください。その中から当日、演奏していただく曲を指定いたします。演奏後、本学の学生を対象に実技レッスンを行っていただきます。
6. 提出期限 平成26年9月30日（火）必着
（書留又は宅配便など配達確認が可能な方法にて。持参は不可）
7. 採用予定日 平成27年4月1日（報酬は本学規程によります。）
8. 書類等提出先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学 教務学生課 音楽教務担当あて
（表に「マリンバ実技非常勤講師応募」と朱書願います）
9. 問合せ先 京都市立芸術大学 教務学生課 音楽教務担当
電子メールにてお問い合わせください。 E-mail : music@kcua.ac.jp
* 急ぎの場合は電話にてお問い合わせください。（Tel 075-334-2222）
10. その他 (1) 本学における非常勤講師の定年は65歳です。
(2) 採用後、通勤に要する費用は1回の出講につき往復2,200円までは実費支給します。
(3) 応募書類は採用事務にのみ使用し、その他に使用することはありません。
(4) 採否の結果については、文書で応募者に通知します。
(5) 本学の情報は、ホームページ (<http://www.kcua.ac.jp/>) を御覧ください。

2014年7月18日

関係者各位

駿河台大学 現代文化学部長
吉野貴順（公印省略）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今般下記の要領にて本学現代文化学部の専任教員の募集を行うことになりました。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、適任者のご推薦方について、よろしくお取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

－ 記 －

【現代文化学部専任教員公募要項】

1. 採用職階：准教授又は講師
2. 募集分野(担当科目)：英語コミュニケーション演習、イギリス文学、観光と外国語など
3. 採用予定人員：1名
4. 資格：大学院博士課程を修了した者及び所定の単位を修得した者（見込の者を含む）又はこれと同等の能力があると認められる者
5. 採用予定日：2015年4月1日
6. 任期：①採用職階が准教授である場合は任期の定めはありません。
②採用職階が講師である場合は5年以内となり、任期付専任教員となります。
（ただし、任期内において昇任を希望する場合は昇任審査を受けることができます）
7. 提出書類：
 - 1) 履歴書（写真貼付・本学所定の様式を使用）1部
 - 2) 研究業績一覧表（本学所定の様式を使用）3部
①著書、学術論文、その他 に区分すること
②単著、共著の別（共著の場合には共著者名と担当部分を記すこと）
③各研究業績に200字程度の要旨を記すこと
④主要な研究業績3点に○印をつけること
 - 3) 主要な研究業績3点（コピー可）各1部
 - 4) 「英語に関する教育に対する抱負」について1600字程度で述べたものを添付すること（A4判横書40字×40行1枚 ワープロ印刷）3部
 - 5) 推薦書1通（様式自由）又は推薦者1名の氏名・連絡先（住所・電話番号等）
本学所定様式の書類については、本学HP からダウンロードしてください。また、いったん提出された上記書類は返却しません（提出書類は本学で厳重に管理・保管し、審査終了後は、本学で作成した資料・コピー等を含めて所定の方法にて破棄します）。
8. 応募期間：2014年9月8日（月）必着
9. 面接・模擬授業日：2014年10月18日（土）～11月22日（土）のうちの複数日を予定
※該当者に対して別途詳細日時を連絡します。なお、該当者には事前に健康診断書（発行後3ヶ月以内）1部を提出していただきます。
※面接の際の交通費は、最終の理事会による役員面談を除き自己負担となります。
10. 提出先：〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 駿河台大学教務課 現代文化学部担当宛
朱書きで「教員公募書類（現代文化）在中」と明記し、郵送の場合には簡易書留にすること。
11. 問い合わせ先：〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 駿河台大学教務課 現代文化学部担当Tel. 042-972-1110
Fax. 042-972-1179 E-mail kyoumu@surugadai.ac.jp

※本学は男女雇用機会均等法を遵守しています。

以上

平成 26 年 7 月 16 日

各国立・公・私立大学長
その他関係諸機関長 殿

文教大学 教育学部
学部長 太郎良 信
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度、文教大学 教育学部 学校教育課程では、以下の通り教員を公募いたします。
つきましては、関係各位にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1、採用職種 教授、准教授 又は 講師 1名
- 2、所属 教育学部 学校教育課程 英語専修【専門分野：英語学】
※平成 28 年度新設予定組織
- 3、担当科目 英語学概論、英語学演習Ⅰ、英語学演習Ⅱ、英語Ⅰ～Ⅳ、卒業研究、
他 英語専修専門科目 等
- 4、応募条件 ① 教員免許状 中高一種「英語」の教職課程認定上、上記担当科目の指導能力が十分
であると認められるもの。
② 修士以上の学位を有するもの。
③ 英語専修設置に係る文部科学省による学校教育課程収容定員増の認可を採用条件
とする。
④ 英語専修設置に係る文部科学省の教職課程認定申請の教員審査において「適格」と
認められることを採用条件とする。
- 5、採用予定日 平成 29 年 4 月 1 日
- 6、給与 本学園給与規程による
- 7、提出書類 ① 履歴書 (写真貼付のこと) 1 通
② 教育研究業績書 1 通
③ 上記②に記載された業績のうち主要なもの 5 点 (抜き刷り、コピー可)
※ 注意：①②は本学所定の様式を用いること。
※ 本学所定書式は、下記の URL よりダウンロードできます。
<http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm>
※ 応募書類は原則として返却しません。返却をご希望の場合は、返却希望の書類を明記
の上、返信用封筒を同封してください
- 8、応募締切日 平成 26 年 10 月 31 日 (金) 必着
- 9、選考方法 書類選考通過者には、平成 26 年 11 月 22 日 (土) 頃までに本人宛に通知し、
11 月 29 日 (土) に面接 (模擬授業を含む) を行います。
- 10、提出先 〒343-8511 埼玉県 越谷市 南荻島 3337 文教大学 越谷校舎 総務課
※ 封筒の表に「教育学部 学校教育課程 英語専修 (英語学) 教員応募書類在中」
と朱書し、書留便とすること。(郵送のみ受け付け。)

【問い合わせ先】 上記提出先と同じ。

電話：048-974-8811 FAX：048-974-9439 E-mail：ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp

※ 応募提出書類の個人情報については審査時の資料とする以外には使用いたしません。
合わせて採用予定者については人事管理以外には使用いたしません。

以上

平成 26 年 7 月 16 日

各国立・公・私立大学長
その他関係諸機関長 殿

文教大学 教育学部
学部長 太郎良 信
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度、文教大学 教育学部 学校教育課程では、以下の通り教員を公募いたします。
つきましては、関係各位にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1、採用職種 教授、准教授 又は 講師 1名
 - 2、所属 教育学部 学校教育課程 英語専修【専門分野：英語コミュニケーション】
※平成 28 年度新設予定組織
 - 3、担当科目 Communicative English 1～4、英語ライティング演習 1～4、英語リーディング I・II、
英語発音演習、英語 I～IV、卒業研究、他 英語専修専門科目 等
 - 4、応募条件 ① 教員免許状 中高一種「英語」の教職課程認定上、上記担当科目の指導能力が十分
であると認められるもの。
② 修士以上の学位を有するもの。
③ 日本語を母語としない場合は、校務を処理するに足る日本語能力を有すること。
④ 英語専修設置に係る文部科学省による学校教育課程収容定員増の認可を採用条件
とする。
⑤ 英語専修設置に係る文部科学省の教職課程認定申請の教員審査において「適格」と
認められることを採用条件とする。
 - 5、採用予定日 平成 28 年 4 月 1 日
 - 6、給与 本学園給与規程による
 - 7、提出書類 ① 履歴書 (写真貼付のこと) 1 通
② 教育研究業績書 1 通
③ 上記②に記載された業績のうち主要なもの 5 点 (抜き刷り、コピー可)
※ 注意：①②は本学所定の様式を用いること。
※ 本学所定書式は、下記の URL よりダウンロードできます。
<http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm>
※ 応募書類は原則として返却しません。返却をご希望の場合は、返却希望の書類を明記
の上、返信用封筒を同封してください
 - 8、応募締切日 平成 26 年 10 月 31 日 (金) 必着
 - 9、選考方法 書類選考通過者には、平成 26 年 11 月 22 日 (土) 頃までに本人宛に通知し、
11 月 29 日 (土) に面接 (模擬授業を含む) を行います。
 - 10、提出先 〒343-8511 埼玉県 越谷市 南荻島 3337 文教大学 越谷校舎 総務課
※ 封筒の表に「教育学部 学校教育課程 英語専修 (英語コミュニケーション) 教員応募書類在中」
と朱書し、書留便とすること。(郵送のみ受け付け)
- 【問い合わせ先】 上記提出先と同じ。
電話：048-974-8811 FAX：048-974-9439 E-mail：ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp

※ 応募提出書類の個人情報については審査時の資料とする以外には使用いたしません。
合わせて採用予定者については人事管理以外には使用いたしません。

以上

平成 26 年 7 月 16 日

各国立・公・私立大学長
その他関係諸機関長 殿

文教大学 教育学部
学部長 太郎良 信
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度、文教大学 教育学部 学校教育課程では、以下の通り教員を公募いたします。
つきましては、関係各位にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1、採用職種 教授 又は 准教授 1名
 - 2、所属 教育学部 学校教育課程 英語専修【専門分野：異文化理解(英語)】
※平成 28 年度新設予定組織のため、当面は教育学部 教職課程の所属となります。
 - 3、担当科目 異文化理解概論、英米文化演習Ⅰ、英米文化演習Ⅱ、英語Ⅰ～Ⅳ、卒業研究、
他 英語専修専門科目 等
 - 4、応募条件 ① 教員免許状 中高一種「英語」の教職課程認定上、上記担当科目の指導能力が十分
であると認められるもの。
② 修士以上の学位を有するもの。
 - 5、採用予定日 平成 27 年 4 月 1 日
 - 6、給与 本学園給与規程による
 - 7、提出書類 ① 履歴書(写真貼付のこと) 1通
② 教育研究業績書 1通
③ 上記②に記載された業績のうち主要なもの 5点(抜き刷り、コピー可)
※ 注意：①②は本学所定の様式を用いること。
※ 本学所定書式は、下記の URL よりダウンロードできます。
<http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm>
※ 応募書類は原則として返却しません。返却をご希望の場合は、返却希望の書類を明記
の上、返信用封筒を同封してください
 - 8、応募締切日 平成 26 年 10 月 31 日(金) 必着
 - 9、選考方法 書類選考通過者には、平成 26 年 11 月 22 日(土)頃までに本人宛に通知し、
11 月 29 日(土)に面接(模擬授業を含む)を行います。
 - 10、提出先 〒343-8511 埼玉県 越谷市 南荻島 3337 文教大学 越谷校舎 総務課
※ 封筒の表に「教育学部 学校教育課程 英語専修(異文化理解) 教員応募書類在中」
と朱書し、書留便とすること。(郵送のみ受け付け。)
- [問い合わせ先] 上記提出先と同じ。
電話：048-974-8811 FAX：048-974-9439 E-mail：ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp

※ 応募提出書類の個人情報については審査時の資料とする以外には使用いたしません。
合わせて採用予定者については人事管理以外には使用いたしません。

以上